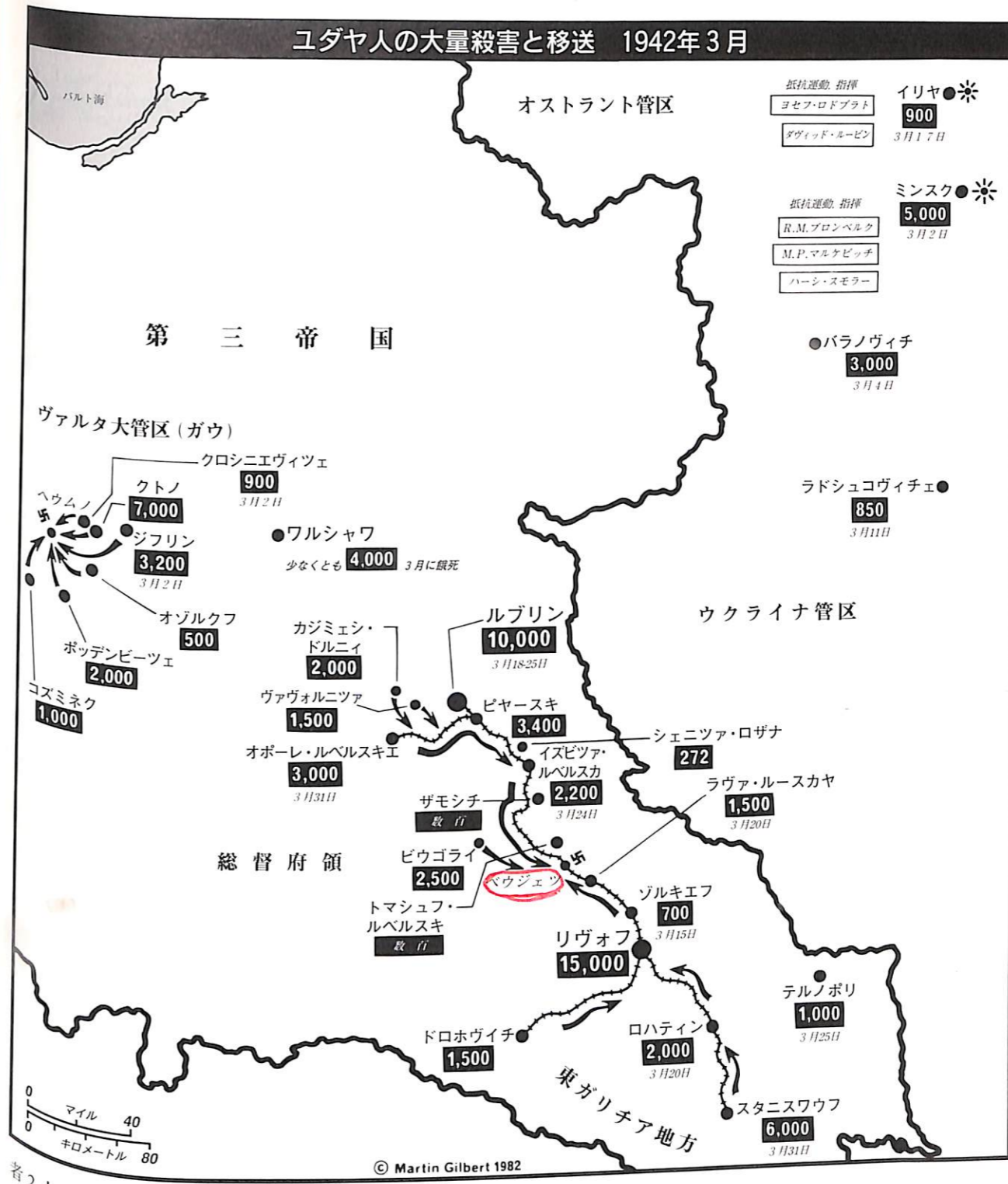


1942年3月の第4週から4月の第3週にかけて、ドイツ国内ではしらみつぶしにユダヤ人狩りが続けられた。ビュルツベルク地方(地図109)では、一家族または数家族の小さな集団が徹底して洗いだされ、ビュルツベルクへ集められた。そこから、第1陣320人が1942年3月24日に移送された。移送は、バート・キッペンゲン、ユーリッヒおよびフェルトに集められたユダヤ人と一緒に、3回にわたって実施された(地図110)。ビヤースキに数日拘留され、それからベウジェツで処理されている。やはり生き残った者はいない。

この3月には、東ガリチアとルブリンからのベウジェツ移送も実施された。ルブリンの

ユダヤ人社会はかなり大きかったが、2週間足らずでは全員が移送された。(地図111)。オポーレからの移送には、2年前トリア出身のユダヤ人が、多数含まれていた(40頁参照)。

ワルシャワでは、ユダヤ人が週に数千人単位で餓死していた。ロハティン、テルノポリといった都市では、ユダヤ人が付近の森の村に押し込まれて殺された。3月14日、イリヤ近では、農場の作業に送られていたユダヤ人達が、ソ連のバルチザン隊に加わり、森の中へ隠れた。3日後、イリヤ所在のユダヤ人



者2人が、バルチザンシンバをSSへ通告することを拒んでいたが、やはり森へ逃げてバルチザン隊に参加した。ドイツ人は、報復に老人と病人のユダヤ人を路上にひきずりだして、押し込めて火を放ち、焼き殺してしまつた。ミンスクでは、ユダヤ人5000人がゲッターから郊外へ運ばれると、巨大な掘削溝の前に立たされ、機銃掃射で殺された。子供数百人

については銃弾を打ちこむまでもなく、溝へ生きながら投げ込まれた。ミンスクのユダヤ人は抵抗グループを組織しようとした。しかし、それはドイツの探知するところとなつた。1942年3月31日、ゲシュタポがゲッターの手入れを行ない、抵抗グループの指導者数人を逮捕した。